

商工業者の育成と振興策は



舟倉 武則議員

舟倉武則議員 町が行う各種事業や一般事務に要する物品の購入についての基本的考え方を伺う。また、人口の減少や少子・高齢化による購買力の低下、商工業者の高齢化への対応策を伺う。

北村町長 物品購入については、町内業者の育成を第一に考え、町内で調達できない場合などを除き、ほとんどを町内から購入している。今後においても、地元を支える地場産業の振興と活性化を図るためにも、できる限り町内業者からの購入を

基本にし、町内業者の育成に努めたい。商工会では、購買力を高めるための取り組みとして、高齢者への「買い物支援事業」等も実施してきている。商工業者の高齢化対策としては、後継者の育成・確保が急務の課題であることから、新規参入者を含めた後継者確保に努力したい。

経営面での講習会や研修会の実施、金融面では、町中小企業振興資金や県の制度資金の活用を図るなど、商工会と連携を密にして、商工業者の育成と商工業振興に努めたい。

芝グラウンドの 利活用について

舟倉議員 県立広域公園内の多目的広場の有効利活用について、町としても何らかの計画を持つべき

と考えるが、県の管理事務所と協議をしたのか。

町長 グラウンドの有効利用については、町と県の芝グラウンド二面を交互に使用することで、長期にわたる大会や合宿等にも対応できると考える。今後、施設の有効活用

と利用促進が図られるよう、各関係機関・団体と連携を深め、併せて、交流人口の増大や地元への波及効果ということも十分考慮しながら、コンベンションタウンとしてふさわしい町づくりの推進につながるよう努めたい。

学校敷地と歴史 ゾーンとの関連は

舟倉議員 宮之城高校等統合により廃止される学校敷地の問題がある。これを県立広域公園の歴史ゾーンとの関連について、県有地ではあるが、有効利用対策を強く要望する考えはないか。

町長 宮之城高校が農業高校と統合することが決定し、新たな名称も「薩摩中央高校」として内定した。校舎も平成九年の地震災害後に改築され、県では具体的な方針や活用等は、まだ示されていない。宮之城高校付近は、県立広域公園の歴史ゾーンとして位置付けてある。歴史ゾーンの整備も視野に入れながら、宮之城高校跡の友好的な活用方策を含め、幅広く意見を求めながら、積極的な要望活動を展開していきたい。



かくや姫グラウンドの「こけらおとし」で行われた招待試合（7月11日）